

9月20日(日)から26日(土)までは、動物愛護週間です。動物と人間には、長い歴史があり、信頼関係が築かれてきました。特に犬と人間は密接な関係ができてきているのではないのでしょうか。

動物は何かを与えてくれることも多いです。それは癒しだったり、安心だったりします。

「パンパニオン・アニマル」という言葉を聞くようになったのは、動物を愛玩物として飼えるのではなく、人生の伴侶としてその動物と生活する考えからです。

人間の動物への期待も多くなり、ペットロス症候群(ペットを失ったことによる精神や身体の疾患)という言葉も出てきています。

しかし、動物に過度の期待をしたり、生き物であるからその問題があったりすると飼育放棄や虐待が起きてしまいます。

動物も人間と同じ大切な「いのち」を持っていて、動物愛護週間があるこの時期に考えてみましょう。動物を愛することの意味を。

# 愛するコト やさしくするコト

吉岡享美さんとボメラニアンボメラの麗ちゃん

## それは本当に やさしきですか

菊池保健所インタビュー

菊池保健所には、年間多くの犬が「飼い主が病気で世話ができない」「引越先で犬が飼えない」「犬アレルギーになった」「手に負えない」などさまざまな理由で連れて来られます。

しかし、犬は保健所に居る間もあなたと生きること望んでいます。飼い主を待っています。

これ以上不幸な犬を生まなためにも犬に不妊・去勢の手術をしてください」と話すのは、同保健所衛生環境課長の桑島文伸さんです。



菊池保健所 衛生環境課長 桑島文伸さん

**飼い主を待つ犬たち**  
 昨年度、菊池保健所に抑留、収容された犬は5800匹。このうち飼い主から引き取った犬は1306匹です。この5800匹の中で、救われた犬はわずかに134匹。抑留、収容された犬の約8割が処分されているというのが現状なのです。

保健所では、引き取りを希望する飼い主に対して処分されるのが前提ですよ。欲しい人には譲渡もできますが、その確率は低いです。それでもいいですか「確認しています。しかし、飼い主のほとんどは犬を置いて帰ってしまいます。」

**真のやさしさとは**  
 「犬を保健所で処分するのはかわいそうだから、逃がしてやることで生きのびて欲しい」。このように考える飼い主もいるだろうと桑島さんは話します。

しかし、逃がしても、飼われていた犬が自分でえさをとるのには至難の業です。例えば生き延びたとしても、町をさまよい子犬を生み、住民からの連絡で結局は保健所へ。これは犬に対するやさしさでもなんでもありません。ただ飼い主という責任から逃れるための言い訳にすぎないのです。

犬はあなたが愛情を注いだ分、幸せを感じさせてくれるはずですよ。もう一度、犬とともに生きる喜びを感じてください。

**守りたい「いのち」**  
 今から犬を新しい家族として迎えようと考えている人へ。まず保健所で待っている犬を思い出してみませんか。ここにいるたくさんの犬たちは、あなたが迎えに来るのを心待ちにしているはず。熊本県では、犬に生きる機会を与えるために、動物愛護管理ホームページで迷子犬・譲渡犬の情報や動物を飼うための心得などをお知らせしています。

熊本県動物愛護管理ホームページ  
<http://www.kumamoto-doubutuigo.jp>

平成20年度菊池保健所管内の状況

	登録総数	狂犬病 予防注射数	捕獲	引き 取り	返還	譲渡	処分	咬傷 事故
菊池市	4,442	3,121	189	37	15	譲渡については市町ごとの集計を行っていません	167	0
合志市	4,715	2,986	100	45	17		106	2
大津町	2,466	1,855	88	20	2		84	1
菊陽町	2,166	1,706	67	34	4		88	1
その他	-	-	-	-	4		-	-
計	13,789	9,668	444	136	42	92	445	4

※「捕獲」「引き取り」は、成犬と子犬の数を合わせて掲載しています。  
 ※抑留、収容の期間によっては、年度をまたぐ場合があるので、数が合わないことがあります。

TOPICS

**犬魂碑** 菊池保健所に来た犬は、約1週間の収容の後、受取人がいない場合は、殺処分されます。処分された犬のために、「犬魂碑」が敷地内に建てられています。

